

きのと小だより

燦

合言葉：みんなで力を合わせて、子どもの方をしっかりと向いて、
大事に大事に育てましょう。 平成27年7月1日 6号

6年生の

佐渡修学旅行スケッチ

校長 金子 智

6月18日、19日と6年生と一緒に佐渡へ修学旅行に行ってきた。おかげさまで両日も天候に恵まれ、一層楽しい旅行となりました。

- 玉堂窯で無名異焼きのろくろ体験をしました。初めての事です。指導者に手を添えてもらいながら、手元に全神経を集中させてつくりました。その表情の何と真剣なこと。体中のエネルギーを注ぎ込んでの茶碗づくりでした。指導者の、「どうだい、これでいいかい。」に、「はい。」と返事をしてろくろから茶碗を外し、乾燥させる板の上に移すと「ふ〜っ。」と息をついていました。「いい作品ができたね。おめでとう。」「はい。ありがとうございます。」満足げに微笑みました。

- 佐渡金山の見学を終えて宿に向けて出発する時刻が5時15分でした。坑道を抜けた子どもたちは坑道の先にある資料館で、作業工程を説明した文章を書き写していました。「ね、今何時？」「5時5分だよ。」「5時10分には出口に向かわなくちゃね。」「うん、あと5分。急いで書こう。」急げ急げと鉛筆を動かしながら、互いに確認し合うようにして会話していました。

この場面に限りません。子どもたちが集合時刻に遅れたことは修学旅行中ただの一回もありませんでした。5分前行動が徹底していました。

- たらい船に乗り込んだ女の子、友だちが乗り込んできて大きくゆれると、「どんぶらこっこ どんぶらこっこ 桃太郎みたあい。どんぶらこっこ どんぶらこっこ。」無邪気に喜んでいました。

- 男子の入浴の付き添いは私の役目でした。お風呂場で待っていると、子どもたちは5分前に勇んでやってきました。「校長先生、もういいですかあ。」「ああ いいよ。」我先にと脱ぎ始め、脱いだ服をかごに押し込むようにして入れました。ズボンがはみ出しているかごもありました。素っ裸になってから、「あ、しまった。タオル忘れた。」大急ぎで服を着てタオルを取りに戻る子もいました。体を洗わないで湯船に入ろうとすると、「洗え、洗え、洗え、洗え。」と連呼がおきました。

入浴タイム終了5分前には全員がかごを元の場所に戻してお風呂場を後にしました。かごの中には忘れ物はありませんでしたが、棚の中に2人分の忘れ物がありました。

男の子も女の子も打ち解けた本当に仲のよい子どもたち、天真らんまん、楽しさいっぱいの修学旅行でした。

また一つ、仲間意識を深め、めずらしい体験を通してステキな思い出をつくった佐渡の旅でした。

梅雨空にアジサイが映えています。